

# フォトニクスにおける極限計測技術

フォトニクスの分野はレーザーの進化とともに急速な発展を遂げています。なかでも際立つ進化を遂げているのが超高速レーザーの世界です。超高速レーザーの登場でOCTや多光子顕微鏡などをはじめとする生体イメージング技術が誕生しました。また、超高速レーザーは光コムへとさらに進化をとげて時間標準や周波数標準や距離標準の歴史を塗り替えました。このように超高速レーザーは従来の光計測をフォトニクスの一分野として大きく変貌させました。

一方、計測の立場で見ると、レーザーは必要不可欠なツールとして基礎物理に貢献しています。例えば、レーザーを使うことでアト秒物理のような素過程の計測が初めて可視化されるようになりました。また、ノーベル賞が有力視される重力波の検出も可能になったのです。

フォトニクス分科会では、このようなレーザーの進化によって初めて成しえるようになった極限計測技術を、その最前線で活躍されているフロントランナーの研究者の方々に紹介して頂くため、本シンポジウムを企画させて頂きました。

このシンポジウムでは、次世代の極限計測技術を創り出すであろう学生や若手研究者の方々の一般講演も広く応募致します。

計測技術は、分野を超えた横断的な研究分野であり基盤技術です。

「フォトニクスにおける極限計測技術」から新しい研究の芽を発見してみてはいかがでしょうか？

## 招待講演者

合田圭介(東京大学)

緑川克美(理研)

井戸哲也 (NICT)

三尾典克(東京大学)

西澤典彦 (名古屋大学)

第78回

# 応用物理学会 秋季学術講演会

The 78th JSAP Autumn Meeting, 2017

会期 2017年9月5日(火)～8日(金)

場所 福岡国際会議場・国際センター・福岡サンパレス